

令和7年度の研究（または活動）内容

1) 地域連携プロジェクトの推進とローカルに根ざしたデザインの学びの場づくり

研究所設立初年度である2025年度は、研究所メンバーそれぞれが地域連携プロジェクトを推進し、様々な企業・自治体との連携を実現することができた。また、プロジェクトの多くは正規授業にアサインされ、より実社会に即したデザインの学びを提供することに寄与できたと考える。以下に、2025年度に実践した地域連携プロジェクトを挙げる。

—

- A. 特別養護老人ホームにおけるヘルスケアアートの実践(連携先: 社会福祉法人ウェルフェア仙台)
- B. 宮城県公立学校教員募集パンフレット・ポスター制作(連携先: 宮城県教育庁)
- C. 地元企業の求人広告動画制作(連携先: 七十七ヒューマンデザイン株式会社、株式会社高速、三恵商事株式会社、有限会社アイデアスペース)
- D. 太白区民まつりの広報ツール制作とプロモーション(連携先: 仙台市太白区)
- E. SENDAI Christmas Village by Bang BAR SENDAI における「Tohtech Marche」の企画・運営(連携先: 株式会社ユーメディア、一番町四丁目商店街振興組合)
- F. 染め物の特徴を生かした商品開発(連携先: 株式会社永勘染工場)
- G. 仙台「四方よし」企業表彰受賞企業を対象としたPR映像制作(連携先: 仙台市経済局、株式会社ユーメディア、株式会社山一地所、株式会社アップルファーム)
- H. 新米のパッケージデザイン(連携先: 合同会社一源、宮城県中小企業団体中央会)
- I. 仙建総合研修センターの施設紹介動画の制作(連携先: 仙建工業株式会社)
- J. 季節限定ビールのラベルデザイン(連携先: 株式会社イーチ・アザー)
- K. BiVi ビジョン仙台と3DCGを活用した仙台駅東口の魅力発信(連携先: 大和リース株式会社)

2) 研究所主催セミナーの開催

「デザインとアートを活用してどのように地域を組み立てるか」をテーマとした、全3回のセミナーを開催した。主にデザインやアートを学ぶ本学学生向けに開催したが、講師それぞれが、異なる立場、異なる地域で実践している事例を知ることができたこと、その後の交流に繋がったことから、研究所メンバーにとっても非常に有意義な時間であった。

<第1回>

講師: 八田 彩佳 氏(新潟県長岡市 地域おこし協力隊／新規事業企画コンサルタント)

日時: 2025年10月17日(金) 17:00～19:00

場所: enspace 5階 5B1 会議室(宮城県仙台市青葉区国分町1-4-9)

参加人数: 12名

<第2回>

講師:清水 建人 氏(せんだいメディアテーク企画事業係長／学芸員)

日時:2025年11月28日(金) 17:00～19:00

場所:enspace 5階 5B1 会議室(宮城県仙台市青葉区国分町1-4-9)

参加人数:12名

<第3回>

講師:板垣 順平 氏(長岡造形大学大学院 イノベーションデザイン領域 准教授)

日時:2025年12月12日(金) 17:00～19:00

場所:テクロビ(アーバンネット仙台中央ビル 5F)

参加人数:21名

3)産業デザイン学科卒業制作展での講評

研究所学外メンバーである清水氏、札幌大谷大学講師の宮本氏を迎え、産業デザイン学科卒業制作展(2026年2月13日～2月18日 於:せんだいメディアテーク)において、展示学生への講評を行った。卒業制作については例年、専任教員のみで講評を実施しているが、学外のデザイナーや教員から講評をもらうことは、これから社会でデザイナーとして活躍していく学生にとって、これまでの制作について改めて省察し、視野を広げるような機会になったと考える。今後は卒業制作展以外でも、このような機会を提供していきたい。



写真 1. BiVi 仙台駅東口での放映の様子 (K)



写真 2. 大年寺山ジェロントピアでのイベントの様子



写真 3. 新米のパッケージデザイン (H)



写真 4. 株式会社高速での動画撮影の様子